

「雄志」66号

衆議院議員

谷田川はじめ



母は一九三五（昭和10）年、六人姉弟の長子として東京新宿で生まれ育ちました。戦争中は茨城県での疎開も経験し、その時の苦労話をよく聞かせてくれました。いかに平和が尊いかを身をもつて体験した世代でした。その後、七人姉弟の末っ子である父達男と出会い、一九六一（昭和36）年、佐原に嫁ぎます。今年でちょうど六十年目になります。家でじつとしているのが嫌いな性格で、愛用の自転車を駆使し、多くの友人や仲間と語り合うことが生き甲斐であつたと思います。そして、「佐原は東京より住みやすい」が口癖でした。

母は信仰心が篤く、困難に直面しても、いつも前向きに考えることができる人でした。私が衆院選で落選するたびに、「徳がないから落選するの。徳を積みなさい。そうすれば神様が成功に導いてくれる。」と言つて、励ましてくれました。

谷田川はじめ後援会事務所

〒287-0001 千葉県香取市佐原口 2164-2

TEL 0478-54-5678 FAX 0478-52-6991

Mail:info@hajime-yatagawa.com

HP:www.hajime.yatagawa.com



国会事務所

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-2-1

衆議院第一議員会館 1208号室

TEL 03-3508-7292 FAX 03-3508-3502

亡き母への誓い

10月26日、母みちよが突然この世を去りました。トイレでぐつたりしている所を私が発見し、救急車を呼んで病院に運ばれましたが、意識を回復することなく、午後6時過ぎに死亡宣言を受けました。検視の結果、心臓死とのこと。満八十五歳での旅立ちでした。

十一月一日、二日と通夜、葬儀を執り行いましたが、多くの方々にご会葬賜り、母もさぞかし感激しています。尚行き届きの点があつたかと存じますが、ご容赦頂きたくお願い申し上げます。

母は一九三五（昭和10）年、六人姉弟の長子として東京新宿で生まれ育ちました。戦争中は茨城県での疎開も経験し、その時の苦労話をよく聞かせてくれました。いかに平和が尊いかを身をもつて体験した世代でした。その後、七人姉弟の末っ子である父達男と出会い、一九六一（昭和36）年、佐原に嫁ぎます。今年でちょうど六十年目になります。家でじつとしているのが嫌いな性格で、愛用の自転車を駆使し、多くの友人や仲間と語り合うことが生き甲斐であつたと思います。そして、「佐原は東京より住みやすい」が口癖でした。

母は信仰心が篤く、困難に直面しても、いつも前向きに考えることができる人でした。私が衆院選で落選するたびに、「徳がないから落選するの。徳を積みなさい。そうすれば神様が成功に導いてくれる。」と言つて、励ましてくれました。

今後ともご指導ご鞭撻を賜りたく宜しくお願い申し上げます。

父が他界したのが今から三十三年前。当時、私と妹が社会人でしたが、三人の弟はまだ学生。「全員大学を卒業させねば」との思いで、パン屋で働き始めて、家計を支えてくれました。

その頃、松下政経塾が社会人経験者にも広く門戸を開放して「政治専科生」を募集するという新聞記事を見つけ、私にすぐ連絡をくれました。「是非受けてみなさい。きっと神様のお導きに違いない。」と言って、背中を押してくれました。運よく合格し、政経塾の研修で米国首都ワシントンに一年半滞在し、連邦下院議員の政策スタッフとして働く貴重な機会に恵まれました。その間、毎日のようには父の墓にお参りし、私の無事を祈つてくれていたそうです。（通夜の時に、ご住職の説法で知りました。）

選挙になれば、ありとあらゆる知人に声かけをし、まさに八面六臂の活躍をしてくれました。その後、私のみならず弟の充丈も選挙に立候補するようになり、気の休まる日々は少なかつたと思います。今はただ「ゆっくりお休み下さい」と願うばかりです。そして父との再会を果たし、天上から二人で見守ってくれることと思います。

自分さえよければいいとの風潮が強まるなかにあって、母は常に皆が幸せになつてこそ、自分も幸せになれるとの信念で自己犠牲をいとわない人でした。政治家はその気持ちがないと務まらないと常々語っていました。この教えを守り、日々徳を積んで参りたいと存じます。

令和二年十一月

谷田川はじめ

銚子市にて国政報告会を開催

谷田川はじめの国政報告会が、10月31日に銚子駅前の銚子よみうりホールで、

ゲストに小西洋之参議院議員をお迎えして開催されました。新型コロナウイルス対策で

検温、消毒、マスク着用を要請しながらも、用意していた60席はほぼ埋まり、

会場は活気に満ち溢れました。



開会を宣言する砂村一男会長



講演する小西洋之参議院議員

『小西洋之参議院議員講演』

菅政権には政治の心がない

「菅政権はすぐ空回りしていることを感じます。空回りを一番感じるのは新型コロナウイルス問題で、GOTOトラベルで日本の半年分の宿泊代に

地元銚子後援会の高橋俊夫さんが司会を務め、主催者を代表して、砂村一男銚子市後援会長が開会を宣言。来賓紹介に引き続き、まず、忙しい合間に縫つて駆け付けて下さった小西洋之参議院議員が講演を行いました。

あたる1.2兆円が使われているが、出張に使われる1万円台のホテルか、普段泊まれない高級旅館に回り、地域の経済を支える普通の旅館、ホテルに恩恵がない。官僚の創意工夫が難しくなっていることの現れと思われます。

もう一つは、千葉県にある世界のトップメーカー製のPCR自動検査機が日本に販路がなかつたため、販売できるようにするために煩雑な手続きと時間がかかつた。しかし現在は認可が下り、補助金も入ってきた

ので、新しい工場で機械が生産されるようになつた。安倍・菅政権には『国民を絶対に救う』という政治の心がない。政治の役割は本当に必要な公助を届けること。

菅政権はすぐ空回りしていることを感じます。空回りを一番感じるのは新型コロナウイルス問題で、GOTOトラベルで日本の半年分の宿泊代に

「谷田川先生はどんな現場でも体当たりで、最前线に出かけて国民のために全力で頑張る、尊敬する先生です。必勝のために私も頑張るので、皆さんも頑張りましょう。」

『谷田川はじめ国政報告』

「小西洋之参議院議員が、浪人中に選挙区内5市4町の要望を聞く『出前国民党(当時)』に同行していただいたことで、自分が現職でないハンド隊』の要望を実現させることができたのは小西さんのお陰です。」

国会議員がしつかり要請すべき

「昨年の台風19号で利根川の堤防のないところから洪水が発生し、早急に築堤をお願いしたい旨、国土交通委員会で質問したところ、早速6億2500万円の予算を付けて頂いた。このようなことは県会、国会を合わせて15年の議員生活で初めてのことでの、議員冥利に尽きる。築堤工事については当初の11月完成からは2か月ほど遅れるが、来年の台風シーズンには間に合う。残りの松岸町、高田町、野尻町は、国道356号沿いのバイパス工事が令和5年度まで行われるので、それに合わせて築堤工事をお願いしています。国には数多くの要望があり、何を優先するかは声の大きいところから、そして、地元選出の国会議員がしつかり要望することが大きいと痛感しました。

今回の経験を踏まえ、地元の課題をしつかりと頭に入れ、タイミングを計り、ダメもとでも質問する姿勢で臨んで参ります。」

国の助成で「地域おこし協力隊」

「10月29日の千葉日報に銚子市の地域おこし協力隊員が2名決まつたと出ていました。同隊は都市の人が地方に来て、地方に貢献する活動を行うことにつき、国が一人当たり年間4百万円を助成する制度。銚子市は要件から外れていたが、総務省の担当者に『過疎にならないよう頑張っている地域を応援しないでどうする』と言ったところ、『検討させて欲しい』との返答があり、3ヶ月後、平成17年から27年の間の人口減少率が11%以上ある地域も対象にすることが決定されました。銚子市の他、香取市、多古町、匝瑳市も対象となつた。



香取市は観光発展のために2名採用。多古町も移住を積極的に進める人材の募集を検討しています。皆さんお困りのことがありましたら、是非、私のところまでお知らせ下さい。すぐには実現が難しい問題がありますが、全力で国に訴えて参ります。

松下政経塾時代の誓いの言葉の1つに『素志貫す。』

徹』という言葉があり、常に志を抱きつつ懸命にすべきことを成すならば、いかなる困難に出会うとも必ず道は開けてくる、成功的の要諦は成功するまで続けるところにあるという意味で、今はダメでも粘り強くやつていてるうちに徐々に前進して最後には貫徹するという姿勢で頑張って参ります。』

説明責任と民主主義の在り方

「日本学術会議の任命問題について、菅首相は説明責任を果たしていないません。松下政経塾時代、シヤムウェイ米国連邦下院議員の政策スタッフとして1年間働きました。その時の最大の仕事な1日2百通以上の手紙の返事書きでした。その背景には、『国會議員を私たちの税金で雇っている。我々の望むことをやってもらわないと困るし、できないのであれば、しつかり説明して欲しい』という、民(たみ)が主(あるじ)であるという、民主主義の精神があります。

日本学術会議の問題に菅首相は全然答えていません。これは民主主義の破壊と言わざるを得ません。アメリカでは、手紙の内容が自分の主張と異なっていても、しつかり返事を書いています。

米国においては、女性の人工妊娠中絶が選挙の度に争点になります。モルモン教徒であるシャムウェイ議員は中絶を認めない生命尊重派。しかし、女性の選択尊重派の方からも手紙が沢山来ます、議員は女性の選択尊重派の手紙に対し、「一つだけお約束します。この法案が本会議に上程されるときには、必ずあなたの意見を心に留めておくことを約束します。』と返事を出していました。

民主主義の世の中、すべての人の意見が一致す

るわけではありません。反対意見であつても、『あなたの意見は心に留めておきます』という姿勢が必要。自分の考えに従わない人間を容赦しないという姿勢であれば、学問の自由、言論の自由が脅かされます。『我々がわかるまでしつかり説明して欲しい』という気持ちでいろいろな政治家にアプローチしていただきたいと思います。』



最後に司会の高橋さんが、「銚子を良くしてくれる人、役に立つ人である谷田川はじめを応援することでも銚子に貢献したい。皆様も谷田川はじめをよろしくお願ひします。」と、谷田川はじめへの更なる支援を呼びかけました。



なお、地元銚子の鎌倉金市会議員、東庄町からは富澤健町会議員、桜井荘一町会議員、柳堀忠町会議員の3名、また、成田市から大和義己市会議員も駆けつけて下さいました。

文部科学委員会で質問

谷田川はじめは11月13日の文部科学委員会で質問に立ち、コロナウイルス対策、GIGAスクールの導入、全国一斉休校の検証、教員免許更新制、教育予算拡充、教員配置の問題、ギフトツド問題について質問しました。この模様は谷田川はじめホームページでご覧いただけます。

大臣所信について

【谷田川はじめ】 大臣所信を聞いて、非常に大臣のやる気を感じた。

ただ、一つ残念なのが、片仮名言葉、アルファベットが多くなったような気がする。例えばオープニングノベーション、スポーツインテグリティーとかムーンショット型。私も辞書を引いた、ムーンショット型。月に打ち上げるロケットのこと。それを逆算して、挑戦的なことを課題にするという意味。

いずれにしても、一般国民の方も聞いているので、そういうのは、わかりやすく注釈をつけるべき。質問取りで六人の若手文科省の職員の方に、GIGA Aつて何の略だと聞いたところ、誰一人も答えられなかつた。私は覚えた。Global and Innovation Gate-way for All(以下)では児童・生徒に一人一台の端末を与えることと、高速大容量の通信ネットワークのこと)一般の人が覚えるのはやはりなかなか難しい。ぜひ、この辺を大臣にお考えになつていただきたいと思うが。

【萩生田光一文部科学大臣】 私が横文字を好きで使っているわけではなく、文部科学省の中の既に行

政用語として定着しているものについて触れさせてもらつた。

国民の皆さんにとつてわかりづらいものもまだまだあると思うので国民に発信するときには、注釈などをつけてできるだけわかりやすく発信をしていきたいと思ってる。失礼しました。

コロナウイルス対策について

【谷田川】 コロナウイルスの第三波が来たという報道が連日のようになされている。文科省として、このコロナウイルス対策を学校現場、地方教育委員会に対し、文科省が応援するから頑張れという強い意思表示が必要だと思う。

小中学校を管轄する市町村教育委員会がこの学校で休校しましたというのをインプットすれば、それが都道府県教育委員会、文科省にも来る。文科省に、情報がいち早く来るシステムの構築を考えていただきたいと思うが。

【文部科学省】 ICT支援員について地方財政措置を講じているが、各自治体に対し、積極的に活用をお願いしつつ、GIGAスクールサポーターのようならもう少し技術的な側面から対応するような方については、国の補助金で、自治体と協力して外部の専門家を学校現場に送り、GIGAスクールの成功に向けて取り組む。

【萩生田光一文部科学大臣】 文部科学省では、全国の児童生徒及び教職員等に新型コロナウイルス感染症の感染者が発生した場合に、臨時休業の実施の有無や期間な

ども含め、学校設置者等から報告を受け、臨時休業期間が長期にわたる場合等については状況を確認し、必要に応じて助言をしている。



答弁する萩生田光一文部科学大臣

全国一斉休校について

【谷田川】 「新型コロナ対応民間臨時調査会」が出版した本の中で、大臣が最後に一斉休校の意義について、今の時点でこの判断が絶対正しかったか、間違っていたかの結論はまだ持っていないとおっしゃっている。このインタビューを受けたのが今から二ヶ月弱前だったので、そのお考えに変わりないかどうか、あるいは新たな考え方を持つていらっしゃるかどうか。

【萩生田大臣】 まだコロナ禍が続いている状況の中で、当時を振り返つて政策の検証をするという段階にはまだ来ていない。全国一斉休校に踏み切ったが、その判断が胸を張って正しかったのかと言われると、今の段階でもその答えを持ち合わせていない。その後、世界百九十二の国と地域が全国一斉休校を行つて、そのことで抑止力を発揮したという一定の成果も出ており、落ちついた段階で検証して参りたい。

成田市教育委員会の取り組み

【谷田川】 成田市は、安倍総理からの要請を二日遅らせて三月四日から休校した。また、緊急事態宣言が発出されたその間も分散登校を行つてある。それができたのは、教育委員に、成田国際医療福祉大学の医師があり、その医師が感染症に詳しく、その意見をもとに閑川教育長が判断し、小泉成田市長も後押しをした。

地方教育行政の運営に関する法律では、国が地方教育委員会にできるのは、「指導・助言」のみで、「指示・命令」はできない。すなわち、市町村教育委員会は主体性を持つて判断しなければならない。



この精神を体現したのが、成田市の閑川教育長だ。このように責任を持った教育長が全国各地にいれば、もつと教育というのはよくなるのではないかと私は思う。

成田市の取り組みは非常に評価されるべきだと思うがどうか。

この精神を体現したのが、成田市の閑川教育長だ。このように責任を持った教育長が全国各地にいれば、もつと教育というのはよくなるのではないかと私は思う。

成田市の取り組みは非常に評価されるべきだと思うがどうか。

廃止を検討できるのではないか等の厳しい意見が相次ぎ、座長の加治佐兵庫大学学長は、問題はかなり根深いと語っている。

もうこの辺で、廃止に向けてかじを切る時期に来たと思うが、大臣の見解を。

【谷田川】 教員免許更新制については、現場の教員からは疑問や不満の声が多く聞こえてくる。大臣は昨年、我が会派の3人の議員の質問に対し、見直しに向けた前向きの発言をされていると私は理解している。

その後、中教審の教員養成部会が審議のまとめを行い、さまざまなかまな問題を七月に指摘している。さらに、先月の十五日に行われた同部会の会議では、現場からは、費やす時間が、費やす労力に比べ役に立っていないとの声が多い、

【萩生田大臣】 私自身はこの免許更新制の意義といふものも一定あると思うが、他方、三十年のベテランの先生が十年目と同じ研修を受けることに何の意味があるのでという思いもあり、不斷の研究は必要で、年次を重ねることにいいペテンの先生になつてもらうことは大事だが、免許の更新とセットということの必要があるのかということは、私なりの思いを持っていて、それは今までの答弁の中にもにじみ出ていると思う。

教育予算拡充について

【谷田川】 教育予算の拡充について、小泉総理が所信表明演説のときに米百俵のことを話題にした。当時の長岡藩の小林虎三郎が、百俵の米も、食べればたちまちなくなるが、教育に充てれば、あすの一万、百万俵となると。

まさに今、教育予算を増やすかどうかが、未来が輝くかどうかにかかっていると私は思っている。

小泉内閣において教育予算は増えるのかと思つたら、義務教育の国庫負担金、国が二分の一出していたのを三分の一にしてしまつた。全く逆のことをやつてしまつた。確認したいが、二分の一から三分の一を引くと六分の一。この部分が地方自治体の主財源になつたが、各自治体がそれを本当に教育予算に割り当てているか、文科省の方で把握されているか。

『文部科学省』三位一体改革により、文部科学省所管の国庫補助金の一部ないしは全部について当時一般財源化されているのは事実。義務教育国庫負担金の他、就学援助の準要保護の部分についての一般財源化といったものが行われた。

地方に一般財源化されたものの地方の教育費の支出状況そのものについては、毎年度、地方教育費調査を実施して、把握をしている。就学援助についても、要保護、準要保護とも把握をして、その実施状況について支援の充実が図られるように、公表している。

この他の地方財政措置が講じられている事業についても、その実施状況などを把握し、地方における取組を促している。

『谷田川』 本当に各地方自治体が教育予算をつけているかどうかは十分ウォッチしていただきたい。

ことしの四月の決算常任委員会の分科会でも大臣に指摘したが、日本は、教育に関する一般政府支出の対GDP比が、アイルランドに次いで下から二番目。大臣は、他の先進国と比べて、日本は教育予算が少ないという認識をお持ちだということでおろしいか。

『萩生田大臣』 OECDの指標をよく出されるが、指標となる数値の捉え方が日本とは若干違うので、こういう現状ではないが、子供たちの教育への投資をしていく必要があり、十分だとは思っていない。

『谷田川』 少人数学級に向けて、財務省は、新しいデータを使つた研究ほど、学級規模の縮小の効果はないか、あつても小さいことを示している研究が多いと主張している。これは短期的な学力のみに着眼している。教育には数字であらわすことのできない人間性の涵養が非常に重要だと思う。

是非、米百俵の精神を財務当局に強く言つていただきたい。



国にしてきたが、意味がないから不要といって返してきた自治体は一つもない。

一定の効果があり、また期待ができるからこそ、続けていただいていると思う。

少人数学級は、お金がかかるから諦めろとか、少しこそくしろという性格のものではなく、日本の子供たちの教育はどうあるべきかという教育政策論からスタートするべき。たまたま

コロナを経験して、六十四平方メートルの教室に四十人が学ぶのは危険だという判断から少人数学級にかじを切らせていただくことにした。不退転の決意で臨むので、しっかりと応援をしていただければありがたい。

教員の配置について

『谷田川』 今年の四月の決算委員会の分科会でも質問をしたが、「教員出身者の割合を調整することは教員不足の対応策になる、ある程度の人事交流は必要だ」と思うが、本来子供たちと接するべき先生方が長期間教育委員会にいるのはもつたいない」と、大臣に答弁していただいた。

文科大臣として、この意見を各都道府県教育委員会に伝えていただきたいと思うが。

ギフテッド教育について

『谷田川』 中教審の中間まとめの中で、特定分野に特異な才能を持つ児童生徒に対する指導についても記述がなされ、答申に向けて鋭意議論が深められている。

学校における実態調査は、特定分野に特異な才能を持つ児童生徒をどう定義していくかなどを考えると、現時点で直ちに調査を行うということまでは考えていない。この中間まとめを踏まえて、議論が深まり、その答申の中身を踏まえながら、例えば実証的な研究開発を行ふとか、必要な取組について検討して参りたい。

『萩生田大臣』 教員資格を持つ人が教育委員会で働くメリットもあり、事務系で、行政で育ってきた人たちが教育現場のさまざまな情に流されずに教育行政をバランスよく維持するというメリットもあると思う。何人ぐらいが適正かというと、その答えを持ち合わせていらない。

少なくとも、現場で先生たちが足りないという事態が起きているのに事務局にとどめておくのはもつたないことは私も賛同したい。

働いていたが、意味がないから不要といって返してきた自治体は一つもない。



9/26 立憲民主党千葉県連結成大会

はじめの活動写真

8/2
太平洋自動車道
モニュメント除幕式10/3
与田浦コスモスマつり10/15
香取市倫理法人会
で講演

谷田川はじめの駅頭活動

衆議院議員の任期満了まで1年を切りました。谷田川はじめは一人でも多くの皆様に自らの考えを知ってもらうために、県議会議員時代から早朝の駅頭活動を行っておりますが、菅首相就任以降、「常在戦場」の気持ちで今まで以上に駅頭活動に力を入れています。9月は合流新党への参加について、10月は日本学術会議会員任命問題についてのチラシを配布しました。

通勤・通学の際に駅頭で谷田川はじめの姿を見かけましたら、ぜひ声をかけていただき、チラシを受け取って下さい。

10月5日 佐原駅
6:00~8:0010月14日 JR成田駅西口
5:45~8:4510月19日 京成成田駅
5:45~8:4510月20日 小見川駅
6:00~8:0010月21日 公津の杜駅
5:45~8:45

ポスター掲示 ご協力のお願い

衆議院議員の任期満了日は 2021 年 10 月 21 日です。任期満了まで 1 年を切り、いつ衆議院選挙があつてもおかしくない状況で、まさに「常在戦場」といっても過言ではありません。谷田川はじめの認知度を一層高めるため A1 版のポスターを作成しました。是非、ご自宅の壁や扉等に貼らせて頂きたくご協力をお願い致します。



国会見学のお知らせ

国会見学は検温、マスクの着用を条件に認められています。もしも国会見学を希望される方は国会事務所までお問い合わせ下さい。



<お問合せ先> 国会事務所
電話 03-3508-7292 担当:森

○後援会ニュース「雄志」 定期購読会員募集

谷田川はじめと支援者を結ぶ機関紙「雄志」を年4回発行しています。あなたのご意見を反映します。

年会費一口2,000円（何口でも可）

購読料のお振込先

郵便振替口座 00110-9-390288 「谷田川元後援会」

谷田川はじめプロフィール

1963年1月17日香取市生まれ

千葉県立佐原高校、早稲田大学政治経済学部卒業

千葉県議会議員4期、衆議院議員2期、松下政経塾出身

現在、立憲民主党政務調査会副会長

文部科学委員会、決算行政監視委員会、憲法審査会に所属
立憲民主党千葉県連副代表、千葉県ハンドボール協会会长

冠婚葬祭等の情報がありましたら、
谷田川事務所までご連絡下さい。

メッセージの手配をさせて頂くとともに、日程調整が
つけば、谷田川はじめが顔を出させて頂きます。

千葉県第10区在住のお知り合いの方を是非ご紹介下さい。



ご連絡お待ちしています

**TEL 0478-54-5678
FAX 0478-52-6991**